## 青森県立郷土館 令和4年度評価(最終)

基本的運営方針		本年度事業計画		本年度実績	年度計画に	
本中が建造力が	年度目標	年度計画	評価項目〔数値目標〕	<b>一个</b> 中皮大根	対する達成度	
青森県立郷土館は、昭和48 年に「ふるさとの過去を語り 現在を考え未来を展望する」 総合博物館として設置されが郷土に誇りをもち、郷土に誇りをもち、郷土にたられるようでいるようではた活動を行ってもいた活動を行っての当ました。 総合博物館としてののでは、社会教育施設として資料収集・保存、展示、調査	研究機関等が主催する各 種研修へ参加させるとと もに、職員の研究活動を	各種研修への参加	○研修参加	次の研修会等に職員を派遣 ・公開承認施設担当者会議(主催:文化庁) ・国宝・重要文化財防災・防犯対策研修会(主催:文化庁) ・文化財の記録作成に関するセミナー(主催:国立文化財機構東京文化財研究所) ・文化財行政講座(主催:文化庁) ・文化をつなぐミュージアム研修(主催:文化庁ほか) ・文化財防災センター研修(主催:国立文化財機構文化財防災センター)	達成	
研究、教育普及などの活動を 通して、本県の歴史や自然、 文化などについて誰もが幅広 い理解を得られるように支援 することにあります。今後も 広く県民の意見を取り入れ、 経営資源を最大限に生かしな	予算の執行管理、分析 を行う。	予算の計画的執行と分 析	〇予算執行率〔直近 5 年平均以上〕	予算執行率 99.1%         参考:直近5年実績(年度末時点)         H29       H30       R1       R2       R3       平均         93.2       98.4       98.2       96.9       97.4       96.8	達成	
がら、未来に向け、下記の博物館活動の充実に努めてまいります。		事業の実施状況等の点 検・評価の実施	○博物館評価の実施	事業の実施状況等の点検・評価を行う「博物館評価」と して、中間評価(1月末現在)を2月に実施 最終評価を年度終了後に実施	達成	
1 資料の収集・保存 当館は、開館以来、一貫 して郷土の歴史、民俗、産 業、自然などに関する資料 の収集・保存に努めていま す。県民・国民共有の財産 である貴重な資料の収集・ 整理に努め、良好な状態で 次の世代に継承していきま す。	理と展示公開の促進を図 るため、本県に関する資 料を中心に寄贈・寄託の		受入れ	<ul> <li>・資料収集を適正かつ円滑に行うための「資料受入判定会議」を3回開催</li> <li>・館所蔵資料は寄贈の受入れ等により前年度末に比べ1,820点増加し101,625点となった</li> </ul>		

基本的運営方針		本年度事業計画		本年度実績	年度計画に
<b>基本的建造力</b> 型	年度目標	年度計画	評価項目〔数値目標〕	<b>平</b> 十及天根	対する達成度
1 資料の収集・保存 (つづき)	収蔵資料の整理・登録を進めるとともに、収蔵 資料のデータベース化の 充実・活用を推進する。 収蔵庫や展示室の点 検、資料の燻蒸等により、 収蔵資料を安全に管理する。	ース化の充実及び活用	既登録情報の整備 ○重要資料点検の実施	·考古資料「大石平遺跡出土品」 4 点(重要文化財)	1 達成 2 達成
				3 国・県指定文化財である重要資料は、温湿度管理された収蔵庫で保管し、点検を県教育委員会担当課と共に2 月下旬~3月上旬に実施	3 達成
展示する常設展示室は、	施設を利用した巡回型の 企画展(巡回展)を開催 する。 巡回展に関連した講演 会等を行う。 施設間相互の協力の下 で当館収蔵資料の活用を 図る連携展を開催する。	実施 2 巡回展に関連した講 演会等の実施	催	・青森市 (11月23日~1月29日) 観覧者数 14,670人 満足度 (来場者アンケート) 「満足」 非常に 非常に 非常に 計 満足 満足 不満 不満 無回 むつ市 98% 32% 66% 2% 0% ( 三沢市 97% 27% 70% 1% 1% 1	

				3 連携展を2件開催 ・写真展「連絡船のあゆみ」(6月7日~7月31日 県民福祉プラザ) ・岩木山の自然(8月6日~9月19日 常盤ふるさと資料館あすか)
究や館外調査を実施するほ	考古分野の調査研究を 実施し、研究紀要に掲載 する。	「青森県出土考古資料 の所在調査」(5年計画 3年次目)の実施		青森県出土考古資料の所在調査を実施(成果を研究紀要 達成 に掲載)
か、教育普及活動を一層充 実させるための研究を進め ます。	実施し、研究紀要に掲載	「中南地域自然調査の 補助調査」(2年計画2 年次目)の実施		中南地域自然調査の補助調査を実施(成果を研究紀要に 掲載)
	歴史分野の調査研究を 実施し、研究紀要に掲載 する。	「青森県の交通史の調 査」(5年計画5年次目) の実施	- 17 / 17 / 17	青森県の交通史の調査を実施(成果を研究紀要に掲載) 達成
	民俗分野の調査研究を 実施し、研究紀要に掲載 する。	「近現代における儀礼 ・習俗等の変容調査」(5 年計画2年次目)の実施		近現代における儀礼・習俗等の変容調査を実施(成果を 達成 研究紀要に掲載)
	美術分野の調査研究を 実施し、研究紀要に掲載 する。	「昭和から平成期の青 森県関係の美術作品及び 資料に関する調査研究」 (5年計画2年次目)の 実施	,	昭和から平成期の青森県関係の美術作品及び資料に関す る調査研究を実施(成果を研究紀要に掲載)
	産業・先人分野の調査 研究を実施し、研究紀要 に掲載する。	産業・先人に関する調 査の実施	○調査研究の実施 ○成果の公表	産業・先人に関する調査を実施(成果を巡回展等の展示 に活用)
	教育普及分野の調査研 究を実施し、研究紀要に 掲載する。	博物館における教育普 及活動に関する調査の実 施		博物館における教育普及活動に関する調査を実施(成果 を研究紀要に掲載)

基本的運営方針		本年度事業計画		+ /	年度計画に
<b>基本的建造力到</b>	年度目標	年度計画	評価項目〔数値目標〕	本年度実績	対する達成度
ついての講演会・講習 会、観察会、体験活動な	郷土や当館資料に関するテーマについて、ゲストキュレーターや当館職員によるわかりやすい講話を実施する。	「土曜セミナー」の実 「土曜セミナー」の実 「※ 新型コロナウイ を踏まえ、不特定 教育普及事業等に しない事業計画と	○参加人数 ルス感染症の状況 多数を対象とする は数値目標を設定	「土曜セミナー」を実施 実施回数 12回 参考:直近5年実績(年度末時点)   H29※   H30   R1   R2※   R3   平均   (15)   36   36   (16)   5   26     参加人数 162人   参考:直近5年実績(年度末時点)   H29※   H30   R1   R2※   R3   平均   (321)   1,400   1,421   (271)   61   961     ※H29・R2は年度中途から長期休館があり実施に   関し制約があったため、参考値として掲載(平均に含まない)	達成
	当館が所蔵する資料を 要望のあった県内文化施 設等に運び、テーマに即 した展示や解説を行う。	「移動博物館」の実施	○実施回数 ○参加人数	「移動博物館」を実施 実施回数 6回 参考:直近5年実績(年度末時点) H29 H30 R1 R2 R3 平均 26 18 10 3 7 13 参加人数 153人 参考:直近5年実績(年度末時点) H29 H30 R1 R2 R3 平均 472 756 753 184 232 479	達成
	講演テーマ等を公開 し、県内市町村など、館 外からの講師派遣依頼に 積極的に対応する。	講師派遣事業の実施	○実施回数	講師派遣事業を実施 実施回数 12回 参考:直近5年実績(年度末時点) H29 H30 R1 R2 R3 平均 12 22 15 10 10 14	達成
	博物館の仕事や活動に ついて、外部講師の講演 会を行い、博物館に対す 館 る理解を深める。 講	者を対象とする、博物	○参加人数	博物館関係者及び一般県民を対象に、外部講師による写真・映像資料の記録と活用に関する講演会を実施(12月7日)	達成
	野外での観察会を通じ て、自然に親しみ、自然	自然観察会の実施	○参加人数	自然観察会を2回実施 ①深浦町(7月3日) 参加人数 11人	達成

の素晴らしさを学ぶ機会を提供する。			②三沢市(10月 2日) 参加人数 11人 参考:直近5年実績 H29 H30※ R1 R2※ R3 平均 45 27 50 21 20 33 ※H30・R2は年1回のみ実施	
古い建物や街並みから、地域の歴史を探る機会を提供する。		○参加人数	「あおもり街かど探偵団」を2回実施 ①つがる市 (6月26日) 参加人数 8人 ②青森市 (10月22日) 参加人数 12人 参考: 直近5年実績 日29※ H30 R1※ R2※ R3※ 平均 9 31 19 20 9 18 ※H29・R1・R2・R3は年1回のみ実施	達成
所蔵する資料を児童生 徒の学習活動に役立てる ため、要望のあった学校 等でテーマに即した資料 の展示や解説を行う。	「出前授業」の実施	○実施回数 ○参加人数	「出前授業」を実施 実施回数 23回 参考:直近5年実績 (年度末時点) H29 H30 R1 R2 R3 平均 76 89 77 58 30 66 参加人数 2,162人 参考:直近5年実績 (年度末時点) H29 H30 R1 R2 R3 平均 3,340 3,867 3,865 2,575 1,472 3,024	達成
夏・冬休み中の子ども たちを対象に、いろいろ な物づくりや体験学習の 場を提供する。	_	○参加人数	1 「夏休みこどものくに」を実施 (7月30日) 参加人数 38人 参考:直近5年実績   H29※   H30   R1   R2※   R3   平均 - 191   161   - 30   127 ※H29は長期休館のため実施なし・R2は感染拡大 防止のため中止 (いずれも平均に含まない)	1 達成
			2 「冬休みづぐりまわし大会」を実施 (1月7日)         参加人数 50人         参考: 直近 5 年実績         H29※ H30 R1 R2 R3 平均	2 達成

基本的運営方針	本年度事業計画			本年度実績	年度計画に
<b>本</b> 个时理呂刀軒	年度目標	年度計画	評価項目〔数値目標〕	<b>平</b> 中 皮 天 視	対する達成度
4 教育普及 (つづき)	郷土館資料及び郷土に 係るレファレンスサービ スを行う。		○レファレンス対応件 数	郷土館資料など郷土に関する県民等からの問合せ485件に 対応	達成
5 連携・交流・情報発信 (1) 県内外の博物館及び図書館等の社会教育施設、民間事業者等と積極的に連携・協力し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。	て、県内博物館等施設の 連携を図る。		○大会参加館数	青森県博物館大会を開催 (12月7日)         参加館数: 18館         参考: 直近5年実績         H29 H30 R1 R2※ R3	達成
(2) 国外の博物館や研究者 との連携、訪日外国人旅 行者の受入体制の整備な ど、博物館としての国際 交流活動の充実を図りま す。 (3) 郷土館の利用機会の拡	内等を作成・配布する。 郷土館に関する情報を 報道機関等に積極的に提 供する。 インターネットや情報 誌を活用して情報発信を	案内等を作成・配布 2 様々な広報・情報媒 体の積極的な活用 3 自宅にいながら郷土	成 ○報道等の回数	1 利用案内等を作成・配布 ・年間行事案内 1回発行 ・郷土館だより 2回発行 2 様々な広報・情報媒体の活用による広報活動を実施	1 達成 2 達成
大や調査研究の成果の普及に資するパンフレット、年報、展示図録、研究紀要等を作成し、県民の郷土理解の促進を図ります。 (4) 様々な広報・情報媒体を積極的に活用して郷土		コンテンツの公開		・新聞 51回 ・テレビ・ラジオ 6回 ・雑誌等 3回 ・ブログ・SNS 106回 計 166回 参考:前年度実績(年度末時点) 315回	
を傾極的に活用して郷土 の歴史や文化を県内外に 広く発信し、郷土館が行 う博物館活動への一層の 理解の促進を図ります。				3 所蔵資料等を紹介する動画コンテンツを制作し、動画 投稿サイト・ユーチューブの当館公式チャンネル「キョ ドチャンネル」で10本公開中	3 達成
6 施設管理 (1) 来館者が安全・快適に 利用できるよう、施設・ 設備の整備と管理を行い		定期点検の実施	○定期点検の実施	施設設備の法令点検及び自主的な点検を実施	達成

ます。 (2) 公共的な施設として、 地震等の自然災害や火災 等に備え、防災意識の向 上と危機管理体制の強化	する。 テーマを明確にした防 災訓練を実施する。	<ul><li>1 防災マニュアルの整備</li><li>2 防災訓練の実施</li></ul>	○防災訓練の実施	<ul><li>1 防火管理体制の整備を実施</li><li>2 火災を想定した防災訓練を実施(2月17日)</li></ul>		達成達成
を図ります。	施設・設備の長寿命化	長寿命化に向けた取組の実施		耐震補強を含めた施設設備の長寿命化改修に向けて、改修基本計画を策定	達成	